

どう
徳とく



桃源郷のような道徳地区



河内神社

窪川地区ではよく知られた地区名であるが、十和、大正地区の方にはずいぶん新鮮な印象があるのではないだろうか？

地区を良く知る方のお話によると、この辺りの地主であった方のご先祖様が、戦国時代の頃に、出身地の地名を持って来られたらしいということである。定かではないが、ある研究者の説では、静岡県がその出身地ではないかと思われるという。

昭和になってもしばらくは、海沿いの地区からの行商が盛んに往來していたことからすると、この地名も、やはり海路でやって来たのかも知れない。

地区の名前が持つ魅力からであろうか、昭和39年か40年頃に、NHKの「明るい農村」で紹介されたことがあるのだと、地区の方が語ってくれた。

「TVなどの普及によって、地区の人同士が集まって楽しむことが減りましたが、昔は芸達者な人が数人いて、それはそれは賑やかで楽しいものでしたよ」

地区の方が懐かしそうに話してくれた。道徳はやはり桃源郷だったのかもしれない。

さて、前述のT字路からほんの数10mにある山の切り取りを過ぎると、まるで桃源郷のようにのんびりとした道徳地区が開けている。現在この地区には16世帯・39人の人たちが暮らしている。地区は、中程にある小さな橋の手前で「上」と「下」の二つの集落に別れる。「下」には、地区の氏神様「河内神社」がある。

「上」の集落をさらに奥へ奥へと進んだところの真下を、土讃線のトンネルが通っている。この地域が周辺の東又エリアの中でも、とりわけ標高が高いということがわかる。したがって、黒石辺りと比べて冬場は気温が2〜3度低いのだという。そういう気候的な理由から、専業農家としてはやや不利な面もあつて、多くは兼業農家である。



「大井川」

町のうごき

(3月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	8,946	-62	男 7	17	49	101
女	10,040	-73	女 2	16	45	104
計	18,986	-135	計 9	33	94	205
世帯数	8,759	-27	(3月中の届出)			

四万十川の
水質状況

	適正值(mg/l)	4月12日
リン酸	≤ 5.0	測定値以下
硝酸	≤ 0.5	1.079
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.650
化学的酸素消費量	≤ 10.0	3.458

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)